



発行所  
 十勝毎日新聞社  
 ©十勝毎日新聞社 2006  
 〒080-8688  
 帯広市東1条南8丁目  
 TEL(代表)0155-22-2121  
 集 局 0155-22-2121  
 編 告 局 0155-23-2323  
 販 売 局 0155-24-2222  
 事 業 局 0155-22-7555  
 総 務 局 0155-24-2299



地上走行データの取得実験で使用された小型飛行機

## JAXA 初の地上走行試験 大樹・多目的航空公園で開始

【大樹】独立行政法人「宇宙航空研究開発機構」(JAXA、東京)は23、24の両日、町多目的航空公園で航空機の地上走行データを取得する実験に取り組んだ。

従来のフロントシミュレーターの精度を向上させることが目的。地上走行の特性を実際に検証する実験は今回が初めてという。

実験は同公園の滑走路を利用し、小型飛行機(全長16・6㍍)の着陸時や停止時、加速時などのタイヤの摩擦、回転変動、重心移動を1秒間に1000コマ写すことが可能。高速カメラで撮影した。

時折小雨が降り、良好な実験条件ではなかったが、10人の実験クルーはさまざまな状況の走行データを収集。JAXA航空機エンジニアの松村智樹(まつむら ともき)が、この実験の責任者として、23日、大樹神社で行われた。

関係者出席し、安全祈願祭、防衛庁エンジン試験

【大樹】防衛庁技術研究本部(東京)が11月から大樹町で実施する次期固定翼哨戒機「P-X」のシミュレーション試験に向け、実験場(町浜大

樹80)の「事業全祈願祭」が23日、大樹神社で行われた。

同実験は町多目的航空公園付近の町有地で行われた。

H1防衛システム事業部の館野昭副事業部長は「敷地が広く実験には適地」と話していた。

工事は10月末に終了し、11月から騒音試験や寒さを利用した水結環境試験などを行う予定。

(松村智樹)

るスタンドや燃料タンクなどを設置する。

安全祈願祭には伏見悦夫町長、小谷内町議会議長、原口武美成行政区長のほか、石川島播磨重工業(IHI)、アイ・エヌ・シー・エンジニアリング、大樹建設工業の工事関係者ら19人が出席。玉盃し奉てんなどの神事を執り行った。

伏見町長は「町で実験が行われることをうれしく思う。できる限り支援したい」とあいさつ。IHI防衛システム事業部の館野昭副事業部長は「敷地が広く実験には適地」と話していた。